

### 令和元年度長野県地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	有機資源の地域循環形成事業	
事業主体 (連絡先)	朝日村役場 0263-99-2001 (代) 0263-99-4103 (直通)	
事業区分	⑤ 環境保全、景観形成に関する事業	
事業タイプ	ソフト・ハード	
総事業費	758,400 円 (うち支援金 :	567,000 円)

#### 事業内容

(1) ごみ減量のため廃棄物を資源に変えて活用する「ウッドチップ講習会」の実施

生活の中から排出されている剪定木を削減し、活用するためには排出者自身の活躍が必要であるため、加工と活用に必要な知識を学ぶ場を作る。また、受講者登録制により使用時の安全性向上を図る。

(2) ウッドチップ貸し出し事業

剪定木の排出者自身が、排出される剪定木を庭の防草、畑の肥料などへの資源化、活用を支援し、村内に活動を広げます。



【第1回ウッドチップ講習】

#### 【目標・ねらい】

- ① ごみの減量
- ② R1 剪定木 対 H30 比 10%削減

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① ・事業を実施し始めた9月から12月まで(1月分はまだデータが完成していないため含めない)の4か月のゴミ全体のステーション収集量は前年比-8% (-1.65 t) で減量の効果が見られた。
- ② ・剪定木自体の総排出量は前年比に比べ-2% (-0.15 t) 減量となった。導入からはウッドチップの利用で生成したチップ 16 t 分は排出抑制につながったと思われる。

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

当初目標は-10%でその値までは削減できなかったが、ごみの出し方の周知の結果前提であるごみの減少ができたため

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

当初設定した剪定木の削減目標は、開始期間・機械の故障等で残念ながら達成できなかったが、ウッドチップの利用で 16 t 分の剪定木の排出抑制はできた。今後通年で今回の事業を継続していき、剪定木を削減できるよう周知、また講習会を実施してさらなるごみ排出量減少へつなげていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

- 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
- 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある